

＜研究活動実績＞

【欧文業績】

Mizutani T, Tsuchiya S, Honda M, Jorge Luis Montenegro Raudales, Kuroda K, Miyamoto H, Nakamura T, Ishibashi K, Shibuya Y. **Alkali-treated titanium dioxide promotes formation of proteoglycan layer and altered calcification and immunotolerance capacity in bone marrow stem cell.** Biochem Biophys Rep. **36**: 1001569, 2023.

Ohara G, Okabe K, Toyama N, Ohta Y, Xinman S, Ichimura N, Sato K, Urata Y, Hibi H. **Hyperthermia maintains death receptor expression and promotes TRAIL-induced apoptosis.** J Oral Pathol Med. **52(8)**: 718-726, 2023.

Song X, Okabe K, Ohta Y, Ohara G, Toyama N, Chang Q, Wang Y, Hibi H. **Family with sequence similarity 20 member B regulates osteogenic differentiation of bone marrow mesenchymal stem cells on titanium surfaces.** Acta Biomater. **161**: 298-308, 2023.

Sakai K, Yamamoto N, Yamaguchi S, Okabe K, Koma Y, Hibi H. **Langerhans cell histiocytosis of single-system multifocal bone, including the mandible, in a 22-month-old child: A case report.** Oral Science International. **20(1)**: 60-64, 2023.

Sun Y, Islam S, Gao Y, Nakamura T, Zou K, Michikawa M. **Apolipoprotein E4 inhibits γ -secretase activity via binding to the γ -secretase complex.** J Neurochem. **164(6)**: 858-874, 2023.

Gao Y, Sun Y, Islam S, Nakamura T, Tomita T, Zou K, Michikawa M. Apolipoprotein E4 inhibits γ -secretase activity via binding to the γ -secretase complex. **Presenilin 1 deficiency impairs A β 42-to-A β 40- and angiotensin-converting activities of ACE.** Front. Aging Neurosci. **15**: 1098034, 2023.

Nakamura T, Hashita T, Chen Y, Gao Y, Sun Y, Islam S, Sato H, Shibuya Y, Zou K, Matsunaga T, Michikawa M. **A β 42 treatment of the brain side reduced the level of flotillin from endothelial cells on the blood side via FGF-2 signaling in a blood-brain barrier model.** Mol Brain. **16(1)**: 15, 2023.

Kurita H, Umeda M, Ueno T, Uzawa N, Shibuya Y, Nakamura N, Nagatsuka H, Hayashi T, Mizoguchi I, Tomihara K, Ikegami Y, Noguchi K, Takiguchi Y, Yamamoto N, Sakai H. **Management of odontogenic foci of infection (dental caries, periodontal disease and odontogenic infections) in the oral functional management of patients receiving cancer treatments: Guidelines based on a systematic review.** Oral Science International. In press

【和文業績】(2023年1～12月)

三浦真香, 渋谷恭之. 回復期リハビリテーション患者における歯科治療の重要性について. Hospital Dentistry & Oral-Maxillofacial Surgery. **35(1)**: 9-11, 2023.

石橋謙一郎, 森田麻希, 鍋田剛志, 中村知寿, 宮本大模, 菱田純代, 加藤伸一郎, 渋谷恭之. 高齢口腔扁平上皮癌患者へのS-1投与における臨床病理学的検討. 日本口腔腫瘍学会誌. **35(3)**: 89-95, 2023.

渋谷恭之. 医療安全を見据えたインプラント卒後教育に、キャダバーを用いたサージカルトレーニング(CST)をどのように活用すべきか?. 日本顎顔面インプラント学会誌. 22(2): 79-85, 2023.

【各教員の論文数（桜山）】

			内訳	
職 名	氏 名	論文数	欧 文	和 文
教授	渋谷恭之	5(4)	3(1)	3(3)
講師	土屋周平	1(1)	1(1)	0
講師	石橋謙一郎	2(1)	1(0)	1(1)
講師	宮本大模	2(0)	1(0)	1(0)
助教	中村知寿	5(1)	4(1)	1(0)

注：（ ）内の数字は筆頭著者又は責任著者の論文を表す（教授の場合は最終著者の論文も含む）

【各教員の論文数（東部）】

			内訳	
職 名	氏 名	論文数	欧 文	和 文
講師	岡部一登	3(2)	3(2)	0

注：（ ）内の数字は筆頭著者又は責任著者の論文を表す（教授の場合は最終著者の論文も含む）

【各教員の論文数（西部）】

			内訳	
職 名	氏 名	論文数	欧 文	和 文
教授	深野英夫	0	0	0
准教授	土持師	0	0	0
助教	加藤伸一郎	1(0)	0	1(0)
助教	菱田純代	1(0)	0	1(0)
助教	谷口弘樹	0	0	0

注：（ ）内の数字は筆頭著者又は責任著者の論文を表す（教授の場合は最終著者の論文も含む）

【各教員の論文数（みらい光生）】

			内訳	
職 名	氏 名	論文数	欧 文	和 文
助教	高島裕之	0	0	0

注：（ ）内の数字は筆頭著者又は責任著者の論文を表す（教授の場合は最終著者の論文も含む）

【表彰・受賞】(2023 年度)

石橋謙一郎，森田麻希，鍋田剛志，中村知寿，宮本大模，菱田純代，加藤伸一郎，渋谷恭之．一般社団法人日本口腔腫瘍学会．日本口腔腫瘍学会学会賞．
高齢口腔扁平上皮癌患者への S-1 投与における臨床病理学的検討
日本口腔腫瘍学会誌．35(3)：89-95，令和 6 年 1 月

【外部資金獲得実績】(2023 年度)

【桜山】

渋谷 恭之．文部科学省科学研究費(基盤 C・代表)．令和 2 年度-令和 5 年度、780 千円/4,290 千円

渋谷 恭之．文部科学省科学研究費(基盤 C・分担)．令和 5 年度-令和 7 年度、100 千円

渋谷 恭之．文部科学省科学研究費(基盤 C・分担)．令和 3 年度-令和 5 年度、50 千円

渋谷 恭之．文部科学省科学研究費(基盤 C・分担)．令和 3 年度-令和 6 年度、50 千円

土屋 周平．文部科学省科学研究費(基盤 C・代表)．令和 3 年度-令和 5 年度、1,430 千円/4,290 千円

石橋 謙一郎．文部科学省科学研究費(基盤 C・分担)．令和 4 年度-令和 6 年度年度、30 千円

宮本 大模．文部科学省科学研究費(基盤 C・分担)．令和 3 年度-令和 6 年度、0 千円

中村 知寿．文部科学省科学研究費(基盤 C・分担)．令和 5 年度-令和 7 年度、200 千円

【東部】

岡部 一登．文部科学省科学研究費(基盤 C・代表)．令和 5 年度-令和 7 年度、1,560 千円/4,810 千円

【西部】

加藤 伸一郎．文部科学省科学研究費(基盤 C・代表)．令和 3 年度-令和 6 年度、520 千円/3,770 千円

【その他】

●国内主要学会発表（2023 年度）

菱田純代，加藤伸一郎，荒川美貴子，中村知寿，鍋田剛志，高島裕之，中根昇吾，渋谷恭之．第 33 回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会．当院における血液培養陽性患者の検討．2024 年 3 月 8 日-10 日

横井駿太，木下史緒理，伊藤栞，中村知寿，大喜多賢治，中村敦，飯田真介．第 252 回日本内科学会東海地方会．脳静脈血栓症を併発したレミエール症候群の一例．2024 年 2 月 18 日

松山楓，宮本大模，渋谷恭之．第 39 回日本臨床栄養代謝学会学術集会．咀嚼機能評価のための食品テクスチャー測定による食品物性の検討．2024 年 2 月 15-16 日

石橋謙一郎，土屋周平，渋谷恭之．第 42 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会．口腔扁平上皮癌において NGI-1 は PDL-1 の発現および腫瘍増殖能を抑制する．2024 年 1 月 25 - 26 日

大原賢治，堀部桃子，中村知寿，鍋田剛志，宮本大模，石橋謙一郎，菱田純代，加藤伸一郎，渋谷恭之．第 42 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会．上顎前歯部歯肉に認めた無色素性悪性黒色腫に対して陽子線治療を行った 1 例．2024 年 1 月 25 - 26 日

松山楓，宮本大模，土屋周平，岡部一登，水谷友美，高島裕之，中根昇吾，谷口弘樹，渋谷恭之．第 27 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会．咀嚼機能評価に用いられる食品試料のテクスチャー分析．2023 年 12 月 2-3 日

水谷友美，土屋周平，松山楓，谷口弘樹，中根昇吾，宮本大模，石橋謙一郎，岡部一登，渋谷恭之．第 27 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会．アルカリ処理した二酸化チタンはプロテオグリカン層形成を促進し骨髄幹細胞の石灰化と免疫寛容能を変化させる．2023 年 12 月 2-3 日

石橋謙一郎，前田悠雅，長屋櫻子，堀部桃子，大原賢治，水谷友美，鍋田剛志，中村知寿，土屋周平，渋谷恭之．第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会．口腔扁平上皮癌において NGI-1 は PD-L1 の発現および腫瘍形成能を抑制する．2023 年 11 月 10-12 日

宮本大模，西村みのり，小林寛子，安永奈津子，加古まり，荒川美貴子，中村知寿，石橋謙一郎，土屋周平，渋谷恭之．第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会．当科における放射線性顎骨壊死 15 例に関する臨床的検討．2023 年 11 月 10-12 日

土屋周平，森晶穂，松山楓，中根昇吾，森田麻希，松本圭司，中村知寿，宮本大模，石橋謙一郎，渋谷恭之．第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会．口腔扁平上皮癌細胞における STT3A および STT3B はシスプラチンによる細胞死を抑制する．2023 年 11 月 10-12 日

深野英夫，加藤伸一郎，渡邊裕之，菱田純代，仲谷佐奈子，宮本大模，小嶋大輝．第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会．頬骨に発症した骨血管腫に対する超音波骨手

術器械の使用経験. 2023 年 11 月 10-12 日

西村みのり, 宮本大模, 松本圭司, 長屋櫻子, 中根昇吾, 谷口弘樹, 鍋田剛志, 石橋謙一郎, 土屋周平, 渋谷恭之. 第 66 回日本口腔科学会中部支部学術集会. 上顎歯肉に発生した無色素性悪性黒色腫に対して陽子線治療を行った 1 例. 2023 年 10 月 14 日

森晶穂, 石橋謙一郎, 前田悠雅, 松山楓, 小林寛子, 大原賢治, 水谷友美, 中村知寿, 土屋周平, 渋谷恭之. 第 66 回日本口腔科学会中部支部学術集会. 舌下面に生じたリンパ上皮性嚢胞の一例. 2023 年 10 月 14 日

小原豪, 岡部一登, 外山直人, 太田優也, 渡邊純奈, 佐藤康太郎, 日比英晴. 第 66 回日本口腔科学会中部支部学術集会. ヒト歯髄幹細胞由来細胞外小胞は放射線性顎骨壊死の発症を予防する. 2023 年 10 月 14 日

谷口弘樹, 堤康輔, 西村みのり, 加藤伸一郎, 菱田純代, 深野英夫. 第 66 回日本口腔科学会中部支部学術集会. conservative surgery を反復し症状の改善が得られた下顎 MRONJ の治療経験. 2023 年 10 月 14 日

長屋櫻子, 宮本大模, 山内千佳, 中村知寿, 宮本大模, 石橋謙一郎, 加藤伸一郎, 渋谷恭之. 第 43 回日本歯科薬物療法学会・第 33 回日本口腔内科学会・第 32 回日本口腔感染症学会・第 36 回日本口腔診断学会. 当科における口腔カンジダ症に対する臨床的検討. 2023 年 9 月 22-24 日

山内千佳, 長屋櫻子, 中村知寿, 宮本大模, 石橋謙一郎, 渋谷恭之. 第 43 回日本歯科薬物療法学会・第 33 回日本口腔内科学会・第 32 回日本口腔感染症学会・第 36 回日本口腔診断学会. 口腔・咽頭の剥離上皮膜による気道狭窄を認めた下腿壊死性筋膜炎の 1 例. 2023 年 9 月 22-24 日

深野英夫, 渡邊裕之. 第 43 回日本歯科薬物療法学会・第 33 回日本口腔内科学会・第 32 回日本口腔感染症学会・第 36 回日本口腔診断学会. 上顎部に発症したリンパ増殖性病変 9 例の検討. 2023 年 9 月 22-24 日

大原賢治, 中村知寿, 森田麻希, 宮本大模, 石橋謙一郎, 加藤伸一郎, 渋谷恭之. 第 47 回日本頭頸部癌学会総会・学術講演会. 口腔潜在的悪性疾患のアピゲニン含有フィロムによる発癌予防効果の検討. 2023 年 6 月 15-16 日

安永奈津子, 池森宇泰, 渋谷恭之. 第 33 回日本顎変形症学会総会・学術大会. 著しい骨格性下顎前突症例に対して下顎骨単独後方移動術を施行した 1 例. 2023 年 6 月 8-9 日

前田悠雅, 土屋周平, 石橋謙一郎, 加藤伸一郎, 鍋田剛志, 渋谷恭之. 第 48 回日本口腔外科学会中部支部学術集会. 下顎歯肉に発生した乳頭状扁平上皮癌の 1 例. 2023 年 6 月 4 日

仙頭佳起, 中村知寿, 安藤翔悟, 野木村茜, 中西俊之, 辻達也, 上村友二, 佐藤曾士, 加古英介, 鈴木伸幸, 橋本大哉, 渋谷恭之, 植木美乃, 道川誠, 祖父江和哉. 第

27 回日本神経麻酔集中治療学会．術前の血清プロチリンレベルと術後の神経認知障害の関連性探索 前向き観察研究(パイロットスタディ)．2023 年 5 月 19-20 日

仙頭佳起，鄭且均，中村知寿，周春雨，MonaAbdullatif，志田恭子，藤掛数馬，太田晴子，加古英介，田村哲也，祖父江和哉，道川誠．第 27 回日本神経麻酔集中治療学会．全身麻酔と開腹手術が脳のリン酸化タウ蛋白質レベルに及ぼす影響 アルツハイマー病モデルマウスを用いた検討．2023 年 5 月 19-20 日

鹿間優子，才川皓平，中村健人，中根昇吾，鍋田剛志，荒川美貴子，高岡素子，渋谷恭之．第 77 回日本口腔科学会学術集会．咀嚼機能評価における食品物性特性の測定と分析．2023 年 5 月 19-20 日

山内千佳，石橋謙一郎，水谷友美，中村知寿，堀部桃子，安永奈津子，安東孝純，渋谷恭之．第 77 回日本口腔科学会学術集会．当科における口腔カンジダ症の臨床的検討．2023 年 5 月 19-20 日

安東孝純，土屋周平，高島裕之，小林寛子，鹿間優子，林恒希，渋谷恭之．第 77 回日本口腔科学会学術集会．FLNA 異常症患者に生じた歯原性角化嚢胞の一例．2023 年 5 月 19-20 日

深野英夫，渡辺裕之，加藤伸一郎．第 77 回日本口腔科学会学術集会．頬粘膜下の小唾液腺唾石症の 6 例．2023 年 5 月 19-20 日

中根昇吾，伊藤由起，加藤沙耶香，金子佳世，榎原毅，渋谷恭之，上島通浩．第 93 回日本衛生学会学術総会．エコチル調査参加学童児における口腔衛生状態と血圧高値の関連．2023 年 3 月 2 - 4 日

山田悠史，小川了，末次彩，寺西絵美，川瀬理絵子，森田裕之，塚本香織，飯塚みさき，伊藤夕貴，渋谷恭之，瀧口修司．第 26 回日本病態栄養学会年次学術集会．“食道癌術後患者は禁酒が必須なのか” 飲酒量が体組成に及ぼす影響についての検討．2023 年 1 月 13-15 日

●研究会発表（2023 年度）
該当なし

●著書（2023 年）
（分担執筆）

三浦真香，渋谷恭之：認定 NST ガイドブック 2023(改訂第 6 版)Chapter5 発展的な栄養管理 4. 歯科領域との連携，日本病態栄養学会編，株式会社南江堂

渋谷恭之．口腔がんとは？．産経新聞．2023 年 5 月 28 日

●講演（2023 年度）

渋谷恭之：第 38 回日本臨床栄養代謝学会学術集会．教育講演 栄養管理における口腔機能の重要性について．2023 年 5 月 9-10 日

渋谷恭之：(株) 久光製薬 口腔感染症領域 Web Symposium. 2023 年 1 月 1 日

石橋謙一郎，山内千佳：令和 5 年度がん診療に関する講演会「周術期口腔管理について」．2024 年 3 月 1 日

深野英夫：「頭頸部がん 第二部・口腔がん～当院の役割～」名古屋市立大学医学部附属西部医療センター・第 15 回周術期口腔管理セミナー. 2023 年 12 月 7 日

土持師：第 74 回名古屋市立大学医学会総会，警戒区域における法歯学的災害支援．2023 年 12 月 3 日

●シンポジウム・ワークショップ（2023 年度）

該当なし

●学会活動

【桜山】

渋谷恭之

- ・日本口腔外科学会 代議員
- ・日本口腔科学会 評議員
- ・日本口腔腫瘍学会 評議員
- ・日本顎顔面インプラント学会 運営審議委員
- ・日本顎顔面補綴学会 代議員
- ・日本頭頸部癌学会 代議員
- ・日本口腔感染症学会 代議員・理事
- ・日本口腔ケア学会 評議員

【西部】

深野英夫

- ・日本口腔外科学会 代議員
- ・日本口腔科学会 評議員
- ・日本口腔内科学会 代議員
- ・愛知県病院歯科医会 理事

土持 師

- ・日本法歯科医学会 評議員
- ・愛知県保険医協会 勤務医会 評議員

加藤伸一郎

- ・日本口腔外科学会 代議員

【東部】

岡部一登

- ・日本口腔インプラント学会 代議員

●学会等資格

【桜山】

渋谷恭之

- ・日本口腔外科学会 専門医，指導医
- ・日本顎顔面インプラント学会 指導医
- ・日本がん治療認定医機構 認定医（歯科口腔外科）
- ・日本口腔腫瘍学会 口腔がん専門医
- ・日本障害者歯科学会 指導医
- ・日本口腔科学会 認定医，指導医
- ・日本口腔感染症学会 院内感染予防対策認定医
- ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
- ・歯科医師臨床研修指導歯科医
- ・神戸大学非常勤講師
- ・愛知学院大学講師（非常勤）

土屋周平

- ・日本口腔外科学会 専門医
- ・歯科医師臨床研修指導歯科医
- ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
- ・愛知学院大学歯学部非常勤講師

石橋謙一郎

- ・日本口腔外科学会 専門医，指導医
- ・日本口腔科学会 認定医，指導医
- ・国際口腔顎顔面外科専門医 (FIBCSOMS : Fellow of the International Board for the Certification of Specialists in Oral and Maxillofacial Surgery)
- ・日本がん治療認定医機構 認定医（歯科口腔外科）
- ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
- ・歯科医師臨床研修指導歯科医
- ・愛知学院大学歯学部非常勤講師

宮本大模

- ・日本口腔外科学会 認定医
- ・日本口腔科学会 認定医
- ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
- ・歯科医師臨床研修指導歯科医

中村知寿

- ・日本口腔外科学会 認定医
- ・日本口腔科学会 認定医
- ・日本有病者歯科医療学会 認定医
- ・日本口腔内科学会 認定医
- ・日本口腔顔面痛学会 認定医
- ・日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士

- ・インфекションコントロールドクター
- ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
- ・歯科医師臨床研修指導歯科医

【西部】

深野英夫

- ・日本口腔外科学会 専門医，指導医
- ・日本口腔科学会 認定医，指導医
- ・日本口腔内科学会 専門医，指導医
- ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
- ・歯科医師臨床研修指導歯科医
- ・愛知学院大学歯学部非常勤講師

土持 師

- ・日本口腔科学会 認定医，指導医
- ・日本外傷歯学会 認定医，指導医
- ・歯科医師臨床研修指導歯科医

加藤伸一郎

- ・日本口腔外科学会 専門医，指導医
- ・日本口腔科学会 認定医
- ・日本がん治療認定医機構 認定医（歯科口腔外科）
- ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
- ・歯科医師臨床研修指導歯科医

菱田純代

- ・日本口腔科学会 認定医
- ・日本有病者歯科医療学会 専門医
- ・日本外傷歯学会 認定医
- ・インфекションコントロールドクター
- ・歯科医師臨床研修指導歯科医
- ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
- ・がんリハビリテーション研修会終了
- ・日本化学療法学会 抗菌化学療法認定歯科医師

谷口弘樹

- ・日本口腔外科学会 認定医

【東部】

岡部一登

- ・日本口腔外科学会 認定医，専門医
- ・日本口腔科学会 認定医，指導医
- ・日本有病者歯科医療学会 認定医，専門医，指導医
- ・インфекションコントロールドクター

- ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
- ・歯科医師臨床研修指導歯科医

【みらい光生】

高島裕之

- ・日本口腔外科学会 認定医
- ・日本有病者歯科医療学会 認定医
- ・摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
- ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了

＜教育活動・臨床業務等の特筆すべき実績＞

●臨床業務（桜山）

【外来診療】

外来診療：外来新患 3,982 名であった。

院内 NST チームのメンバーとして歯科医、師 1 名 AST、ICT ラウンドチームメンバーとして歯科医師 1 名が活動した。

【入院診療】

当科入院患者総数は 2,325 件、全身麻酔下での手術 137 件であった。

●臨床業務（東部）

【外来診療】

2023 年度の延べ患者数 5358 人、外来新患 1494 名で紹介率 40.4%であった。

NST チームのメンバーとして歯科医師 1 名、RST チームのメンバーとして歯科医師 1 名、糖尿病教室のメンバーとして歯科医師 1 名および歯科衛生士 1 名、摂食嚥下センターのメンバーとして歯科医師 1 名および歯科衛生士 1 名が活動した。

【入院診療】

2023 年度の延入院患者総数は 310 人、手術室全身麻酔下（鎮静を含む）の手術は 38 件であった。

●臨床業務（西部）

【外来診療】

初診患者は 3,204 人（紹介患者 2,714 人）、再診患者は 13,173 人、1 日平均 64 人。

紹介率は 84.7%。

NST チームのメンバーとして歯科医師 1 名、歯科衛生士 1 名が活動している。

毎週木曜日に放射線治療科の医師、看護師と歯科医師と合同で陽子線カンファランスを行っている。

【入院診療】

入院患者総数は 462 人、入院月平均 38.5 人。

全身麻酔手術件数は 121 件で、静脈鎮静（局麻のみを含む）での手術件数は 275 件であ

った。

●臨床業務（みらい光生）

令和5年度より名古屋市立大学病院附属となり、立ち上げ初年度であるため物品や体制整備等に尽力した。

【外来診療】近在歯科からの依頼は少しずつ増加している。耳鼻科主導で外来患者に対する嚥下外来が設立され、チームの一員として従事した。歯科口腔外科では口腔機能低下症に関する精査および口腔ケアなどで協力をしている。

【病棟業務】歯科口腔外科での入院はないが、他科入院患者の歯科診察依頼は右肩上がりにより上昇している。内容は口腔ケア、義歯調整、BP前スクリーニングなど様々である。また、耳鼻科・歯科口腔外科・リハビリ科（ST）による入院患者に対する摂食嚥下リハビリチームを設立し、歯科医師による病棟での嚥下内視鏡検査・多職種でのカンファレンスなど摂食嚥下リハビリテーションに対するチーム医療が可能な体制を整備した。2024年1月に内視鏡が納品され、病棟でのVE検査を開始したところである。

●教育活動・地域貢献（桜山）

講義

渋谷恭之，コミュニティヘルスケア卒前教育

行動科学・地域医療学コース コミュニティ・ヘルスケア基礎（IPE）ユニット

2023年4月14日，名古屋市立大学医学部 M2

渋谷恭之，病理学 歯、口腔病理-1,2

2023年6月13日，名古屋市立大学医学部 M3

渋谷恭之，2023年度 薬学部コミュニティヘルスケア基礎（CHC基礎）集中講義
栄養管理における口腔機能の重要性について

2023年9月19日，名古屋市立大学薬学部

渋谷恭之，愛知学院大学歯学部3年，口腔外科「口腔・顎顔面領域の疾患ⅠーⅠ」

2023年12月7日 愛知学院大学 楠元校舎 第3講義室